

徳島大学の地域連携・社会貢献事業

ふるさと納税活用
徳島大と連携協定
石井町

石井町と徳島大学は「企業版ふるさと納税」の寄付金の一部を、徳島大の教育研究費用などに充てる連携協定を結んだ。徳島大が県内の自治体と同様の協定を結ぶのは初めて。

町内には徳島大生物資源産業学部が農場で、新産業創出を目指す「バイオインベション研究所」の本部などがある。教育研究態勢を充実させることで高度な専門知識や技術を持った人材を育成し、地域の課題解決や町の産業振興につなげようと、徳島大が町に提案した。

7月30日に町役場で締結式があり、小林智「町長と河村保彦学長が協定書に署名。町長は「未来への投資。企業にもメリットがあり、町と大学双方の発展につながってほしい」、河村学長は「新たな産業創出を目指し、石井町の発展に貢献したい」と述べた。(渡辺和意)

令和6年8月15日
〔徳島新聞〕

徳大環境防災研究センター 設立20年

増える災害調査 存在価値高まる

徳島環境防災研究センター（徳島市）が設立から20年を迎えた。地震や水害などの被災地調査し、得られた知見をふりかき整理定量化し、過去に未だしてない。人材育成にも力を入れ、地域の防災力向上を支えてきた。徳島半島全域を舞台で大規模な自然災害が頻発する中、存在価値は高まっている。



熊本県の熊本地震に被災した小学校で、調査員が被災状況を調査している。令和6年8月15日、徳島市。

センターは地方大学では初めて、防災と環境の研究に特化した拠点として、2004年4月に開設された。防災、防災復興、環境、危機管理の四つの研究部門があり、地震、津波、洪水、土砂災害などの調査約50人が精をこめて、

熊本県の熊本地震に被災した小学校で、調査員が被災状況を調査している。令和6年8月15日、徳島市。

知見や教訓 啓発に生かす

19年には被災地をテーマにしたシンポジウム「震災と復興」を開催。18年から防災に関する調査をテレビラジオで提供するほか、21年から防災のシンポジウム「防災のシンポジウム」を開催している。

講演や活動報告 8日、シンポ

徳島環境防災研究センターは8日、徳島市同大東三輪キャンパスで「設立20周年記念シンポジウム」を開催する。活動報告はセンターの危機管理部長、西村尚志（災害復興）、藤田雅人（防災）、小川尚志（危機管理）の各研究員が報告する。

女子の理工系進学 後押し

徳大生グループがイベント 「科学の面白さ伝えたい」



「科学の面白さ伝えたい」イベントの様子。令和6年11月26日、徳島市。

県、研究者と交流の場提供
「科学の面白さ伝えたい」
女子の理工系進学を後押しする取り組みが、徳島大学で進んでいる。県、研究者と交流の場を提供し、科学の面白さを伝えるイベントを開催している。

徳島大学は、県、研究者と交流の場を提供し、科学の面白さを伝えるイベントを開催している。このイベントは、女子の理工系進学を後押しすることを目的としており、県、研究者と交流の場を提供している。

令和6年6月4日
〔徳島新聞〕

令和6年11月26日
〔徳島新聞〕

ユネスコ生物圏保存地域

エコパーク 登録可能性探る

上勝、住民団体が勉強会



生物圏保存地域「エコパーク」について説明する松田さん＝上勝町福原の福原ふれあいセンター

上勝町を国連教育科学文化機関(ユネスコ)の生物圏保存地域「エコパーク」に登録できるかどうかの可能性を探る勉強会が13日、同町福原の福原ふれあいセンターであり、町関係者ら34人が参加した。徳島大と地域共創センター(菅員教授の澤田俊明さん、同大大学院教授で前日本景観生態学会会長の鎌田磨人さん、横浜国立大名誉教授で元

「高丸山を核心地域にした案を出すのは十分可能。ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)などの移行地域の取り組みも高く評価されるはず」などと話した。エコパークは976年にユネスコが始めた登録制度で、国内では「みなかみ(群馬、新潟)」「白山(富山、石川、福井、岐阜)など10地域が登録されている。登録地域が加入するネットワークで国内外に情報発信ができるほか、ブランド価値の向上なども期待できる。勉強会は町の住民団体「かみかつ棚田未来づくり協議会」が初めて開いた。12月にも2回開催する。(板野睦)

令和6年11月14日 [徳島新聞]



電動ドリルを使ってブックスタンド作りに挑戦する小学生(右端)＝牟岐町中村

木工製品作り 大学生と体験 牟岐小児童 徳島大の建築サクルA UT(アウト)の学生メンバー16人が、牟岐町中村の元旅館を改修した活動拠点(Canso(キャンソー))で小学生に物づくり体験教室を開いた。牟岐小児童5人がブックスタンドや竹あんどんなどの制作に挑戦。金つちで木材にくきを打ち込んだり、電動ドライバで竹に穴を開けたりした。ブックスタンドを作った牟岐小5年の青木進仁さん⑩は「工程が多く大変だったが、上手にできた。体験教室の後は、AUTが自作したササを使ってビザづくりを楽しんだ。体験教室は県南地域づくりキャンパス事業の一環。AUTは2018年から建築や物づくりを通して同町の地域活性化に取り組んでいる。20日にあった。(島谷健太郎)

令和6年8月28日 [徳島新聞]

徳大と県人会が連携協定を締結

地方創生推進で協力

徳島大と全国徳島県人会連合会は5日、地方創生の推進に関する連携協力協定を結んだ。協定によると、関係人口の創出や産官学連携などで協力する。具体的には、県外で就職する徳島大の卒業生に県人会加入を呼びかけたり、大学の研究シーズを

各地の企業にマッチングしたりする。徳島市の大学事務局で締結式があり、河村保彦学長と県人会連合会の本出良一会長が協定書に署名した。徳島大が県外に組織を持つ

つ団体と連携協定を結ぶのは初めて。藤本真路副学長は「さまざまな団体と連携してきたノウハウを踏ま

え、今回の新しい結びつきをどのように活用するか検討していく」と話した。(青木忍)

令和6年8月6日 [徳島新聞]

希少な薬草など700種

徳大植物園 25日まで一般開放



高血圧改善の漢方薬に用いられるカキカスラ＝徳島市国府町日開の徳島大薬学部付属薬用植物園

薬用植物やハーブなど約700種類の植物を栽培している徳島大薬学部付属薬用植物園(徳島市国府町日開)の一般開放が21日、始まった。入園無料。25日まで。約1万平方メートルの敷地に漢方薬や樹木園、絶滅危惧IB

令和6年10月22日 [徳島新聞]

類に分類されている「スズムシバナ」といった希少植物が観察できる。研修室では「香酸かんきつ」の香りを楽しむ」と題したイベントも実施。徳島のスタチンや高知の「四万十

【紙面編集】張洋輔

県内の学生と留学生 歩き遍路に挑戦

産学官連携組織が初実施

県内の大学生と留学生が、四国霊場(善礼所・霊山寺(鳴門市)から3善礼所・薬王寺(美波町)までの歩き遍路に挑戦している。県や大学、経済団体など16機関でつくる「こし

ま産学官連携プラットフォーム」が国際交流や文化交流などを目的に初めて実施した。参加しているのは、神山町までの「遍路転がし」に参加しているのは、神山町まで約7時間かけて歩いた。来日して5年目という四国大の学生らと留学生の28人・7チームに分かれて1日に霊山寺を出発した。リム出身は「自国の文化や日本の文化について話せた。歩き遍路は初めて。神聖な気持ちになり、心が洗われる」と笑顔を見せた。(佐藤聡美)

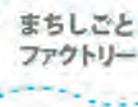


藤井寺を参拝する学生ら＝吉野川市鴨島町

令和6年9月8日 [徳島新聞]

事業の展望・課題説明

徳島大で最終セミナー

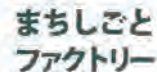


地域の起業や担い手育成を支援する「まちしごとファクトリー」(徳島大、県信用保証協会、徳島新聞社主催)の本年度最終セミナーが1日、徳島市の徳島大...

令和7年2月2日[徳島新聞]

起業の心構え50人学ぶ

徳大で本年度初セミナー



地域の起業や担い手育成を支援する「まちしごとファクトリー」(徳島大、県信用保証協会、徳島新聞社主催)の本年度初のセミナーが6日、徳島市の徳島大...



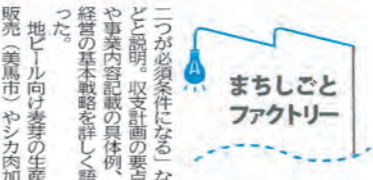
の理念を認識したことで、たくさんのリピーターがいてくれた」と語った。神山町で自営のウエブサイト制作を手がけるA Y Aクリエイティブの松坂智美代表(39)は、専業主婦が在宅で働けるよう制作業務を全てオンラインで行っているという。...

令和6年7月7日[徳島新聞]



地域の起業や担い手育成を支援する「まちしごとファクトリー」(徳島大、県信用保証協会、徳島新聞社主催)の実践塾が19日、県信用保証協会創業推進...

徳島大で実践塾



工のペット飼料開発(同市、藍染製品の開発販売(海陽町)といった県内の創業事例を紹介し、参加者は真剣な表情で話を聞いた。...

令和6年10月20日[徳島新聞]

リスキリング

注目高まる

仕事で使える新たな技能習得

仕事で使える新たな技能習得。リスキリング(字面)は、県内でも注目されている。自治体は住居型や女性活躍を自助的にデジタル化する。...

女性活躍や労使の能力向上へ 自治体・大学 講座後押し



パソコンを使って企業のブログを作成する島田さん。小松島市のリスキリング推進セミナーでITスキルを身に付け、就業につなげた=同市内

で作成している。リスキリングを促している。徳島大の「入居型共同生活を営むための事業」...

令和6年6月26日 [徳島新聞]

出羽島かるた 完成 風土や暮らし 札に残す



出羽語りかるたの絵札と読み札の一部

人口減少が進む牟岐町の出羽島の風土を未来に残そうと、徳島大総合科学部地域創生コース4年の月岡乃乃さん(22)が2年前から取り組んできた「出羽語りかるた」が完成した。



出羽語りかるたを作った月岡乃乃さん

月岡さん(徳島大)2年かけ。かたは、絵札と読み札のイラストを花火をモチーフに描いた。...

かたは、絵札と読み札のイラストを花火をモチーフに描いた。...

令和6年4月4日[徳島新聞]